

戦後80年の夏

「沖縄では戦争は終わっていないのですよ」

沖縄の人が語ったこの言葉にショックを受けました。80年前、本土防衛の捨て石となった沖縄では、米軍だけでなく味方によって多くの人が殺され、また自決を強要され、今も遺骨の収集が行われているのだそうです。米軍基地を抱え、台湾有事に備えた前線として、現在も沖縄の人たちは大きな負担を強いられています。沖縄の美しい海や、沖縄の人たちの明るい笑顔の向こう側に、深い悲しみがあることを知りました。平和だと思っていたけれど、世界を見渡してみると、まったくそうではないことにショックを受けたのです。

平和の反対は「暴力」だと言います。そして暴力には、戦争のような直接的暴力、制度などの環境的暴力、私たちの社会のありさまとしての文化的暴力があるそうです。

今、自分中心の考えから、他者を排除する考えが広がり、世界の各地で戦争や紛争が絶えません。国内でも、外国人を排斥し、ニセ情報を拡散し、障がい者などのマイノリティをいえないものとするヘイト言説が広がっています。そして、私たち自身も、無意識のうちに文化的な暴力を振るったり、暴力に加担し続けたりしているかもしれません。

タレントのタモリさんが、黒柳徹子さんから「来年はどんな年になるでしょう?」と聞かれ「新しい戦前になるんじゃないでしょうか」と答えたそうです。戦争とは過去のことではなく現在のことなのです。

仏説無量寿経に「兵戈無用(ひょうごむよう)」という教えがあります。仏さまの教えの前では、兵士も武器もいらない、という意味です。親鸞聖人も「世のなか安穏なれ」とおっしゃいました。戦後80年を戦前にしないために。仏さまの智慧と慈悲に導かれ、お互いの違いを認め合い、尊敬し合える社会を作ることが、私たちの責務だと思います。合掌 (住職)



八月(葉月)	
六日(水)	鑽仰会理事会(住職)
一〇日(日)	お講 十一時
一五日(金)	お盆
二三日(土)	地藏盆

年間行事の変更(再掲)

「すすきはき」を一〇月一九日(日)の朝から予定していましたが、町の防災訓練が実施されることに伴い、午後からに変更いたします。詳細はお知らせいたします。

爆弾が降って来た — 前任職の自伝から —

昭和二十年頃には戦況ますます悪化、連日、空襲警報のサイレンが鳴り、B29やグラマン戦闘機が飛んで来るようになり、勉強もおちおちできなくなってきました。四年生の五月頃のよく晴れた日、校内マラソンがあつて、石畑のところを走っていたら、頭の上を大きな爆弾のようなものが飛んで来たので、びっくりし思わず溝川に飛び込みました。家に帰ってから、この爆弾が岡山近くに落ちたと聞いて見に行ったらドラム缶ほどのものが田んぼに突き刺さっていました。これは実は爆弾ではなく、降伏を呼びかける宣伝ビラの入った缶だったのですが、これが初めての恐怖体験でした。

また、これも夏の暑い朝、登校途中で四十九院の藪まで来たときサイレンが鳴り、沢山のグラマンが飛んできて、空から何かキラキラ光るものがいっぱい降ってきました。南村の弁天さんまで帰ったとき、パチパチ・キンキンという音と共に鉄砲玉の大きいのがいっぱい降ってきました。これは葉きょうというもので、直径2〜3cm、長さ6〜7cmくらいの真鍮管で、機関砲を撃ったあとの打ち殻を飛行機から捨てたものだと思いましたが、みんなはびっくり機銃掃射を受けたと思い、生きた心地もなく、持っていたスコップを頭にかぶって思わず必死で、なまんだぶ、なまんだぶ……と自然にお念仏が出て来て、このときはほんとに死ぬかと思いました。後で聞いたら藤堂さんの屋敷に実弾が落ちたということでした。

八月一五日はどんよりと蒸し暑い日だったように思います。その日はB29もグラマンも飛来せず妙に静かだと思っていたら、昼にラジオで大事な放送があるというので、前の加藤半六さんへ聞きに行きました。当時、村にラジオのあったのは数軒だけ。天皇陛下が日本の敗戦を放送されたらしく、大人たちは、日本が負けた、戦争は終わったがこれからどうなるのやらなどと話していたらしかったけど、雑音がひどかったのと言葉が難しく私にはよく判りませんでした。

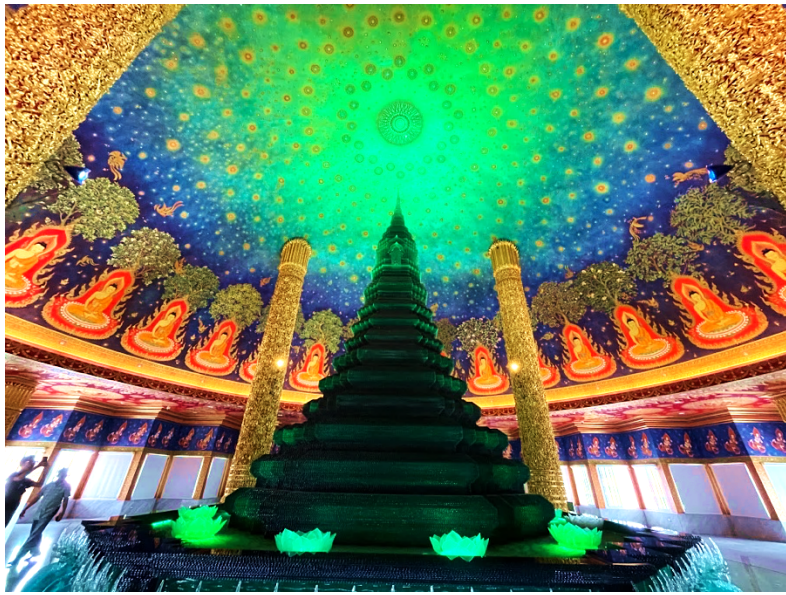
8月の掃除当番は、安達みさ子さんです。お世話様ですがよろしくお願いたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ





お寺めぐり(タイ)
ワット・パクナム

ド派手なお寺が多いタイ・バンコクでも、インスタ映えするお寺として特に有名なのがワット・パクナムです。大きな塔の中の階段を上がっていくと、仏教の宇宙観をそのまま再現したような美しく幻想的な空間が突然現れました。広間の真ん中に巨大な水晶の仏塔が、プラネタリウムのようなドーム天井に向かって伸びています。その天井はエメラルド色に輝いていて、たくさんのおさまが私たちを見つめてくださっています。仏説阿弥陀経に、東西南北上下にガンジス川の砂ほどのたくさんのおさまがおられ、阿弥陀さまにお任せなさい、と勧めてく



ださっているお話が出てきますが、まさにその場に居合わせているかのようです。私は、魂を揺さぶられて感激し、しばらくその場に立ち尽くしました。そして、その景色や風や空気や匂いを身体に染み込ませるように仏塔の前に静かに座って合掌礼拝しました。仏塔のてっぺんからお釈迦さまが私にこやかに微笑んでおられ、その心地良さに暑さも吹き飛びました。

夏休み恒例!
間違い探し

夜の森では、動物たちが元気に暮らしています。いろんな動物たちがいますね。あれれ、上の絵と下の絵、7箇所、間違っているよ。
 頑張って見つけてね!



先月号の答え

- | | |
|-------|----------------|
| 舍利弗 | (6) シャーリプトラ |
| 目連 | (1) モツガツラーナ |
| 摩訶迦葉 | (2) マハーカッサパ |
| 須菩提 | (5) スプーティ |
| 優波離 | (4) ウパーリ |
| 羅睺羅 | (7) ラーフラ |
| 阿難陀 | (9) アナンダ |
| 富楼那 | (8) プンナ |
| 摩訶迦施延 | (10) マハーカッチャーナ |
| 阿那律 | (2) アヌルツダ |

